

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-78089 (P2000-78089A)

【公開日】平成 12 年 3 月 14 日 (2000.3.14)

【出願番号】特願 平 10-261035

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 B 10/105

H 0 4 B 10/10

H 0 4 B 10/22

G 0 3 B 15/05

H 0 4 N 5/00

【F I】

H 0 4 B 9/00 R

G 0 3 B 15/05

H 0 4 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 1 日 (2005.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 閃光を発生する発光手段と、
 該発光手段に印加する電気エネルギーを蓄積する電気エネルギー蓄積手段と、
 該電気エネルギー蓄積手段に充電を行う電源手段と、
 前記発光手段に発光を開始させるためのトリガ信号を発生する発光制御手段と、
 前記発光手段を発光させる発光間隔を測定する計数手段とを有し、
前記計数手段の測定結果に基づいて、前記発光制御手段にトリガ信号を発生するタイミ
ングを補正させるタイミング補正手段を備えることを特徴とする光情報通信装置。

【請求項 2】 前記発光制御手段は発光指示信号を受けることに応じてトリガ信号を
発生するものであって、前記タイミング補正手段は前記発光制御手段が前記発光指示信号
を受ける間隔に応じて、前記発光制御手段に前記発光指示信号を受けてから前記トリガ信
号を発生するまでのタイミングを異ならせることを特徴とする請求項 1 に記載の光情報通
信装置。

【請求項 3】 前記タイミング補正手段は前記発光制御手段が前記発光指示信号を受
ける間隔が長いほど、前記発光制御手段が前記発光指示信号を受けてから前記トリガ信
号を発生するまでのタイミングを短くさせることを特徴とする請求項 2 に記載の光情報通
信装置。

【請求項 4】 所定の周期に同期したタイミングによって通信データを検出し、該通
信データが発光指示と非発光指示の組合せからなるものであって、発光指示であることを
検出した場合に発光信号を形成して発光手段に発光を行わせることによって、前記通信デ
ータに基づいて光通信を行う光情報通信装置において、
前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を、前記通信デー
タに基づいて調定することを特徴とする光情報通信装置。

【請求項 5】 前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を
、前記発光指示を検出した間隔に応じて調定することを特徴とする請求項 4 に記載の光情

報通信装置。

【請求項 6】 前記発光指示を検出した間隔が長いほど、前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を短くすることを特徴とする請求項 5 に記載の光情報通信装置。

【請求項 7】 前記発光手段は閃光管であることを特徴とする請求項 4 から 6 のいずれ一つに記載の光情報通信装置。

【請求項 8】 前記光情報通信装置はストロボ装置であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一つに記載の光情報通信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

【課題を解決するための手段】

本出願に係る発明の目的を実現する構成は、閃光を発生する発光手段と、該発光手段に印加する電気エネルギーを蓄積する電気エネルギー蓄積手段と、該電気エネルギー蓄積手段に充電を行う電源手段と、前記発光手段に発光を開始させるためのトリガ信号を発生する発光制御手段と、前記発光手段を発光させる発光間隔を測定する計数手段とを有し、前記計数手段の測定結果に基づいて、前記発光制御手段にトリガ信号を発生するタイミングを補正させるタイミング補正手段を備えることを特徴とする光情報通信装置にある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本出願に係る発明の目的を実現する他の構成は、所定の周期に同期したタイミングによって通信データを検出し、該通信データが発光指示と非発光指示の組合せからなるものであって、発光指示であることを検出した場合に発光信号を形成して発光手段に発光を行わせることによって、前記通信データに基づいて光通信を行う光情報通信装置において、前記発光指示を検出してから前記発光信号が形成されるまでの時間を、前記通信データに基づいて調定することを特徴とする光情報通信装置にある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

これらの構成によれば、通信データを送信するための発光パルス間隔のばらつきが防止され、正確な光情報の伝達が可能になる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、通信データを送信するための発光パルス間隔のばらつきが防止され、正確な光情報の伝達が可能になる。

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】削除

【補正の内容】